

# 未来社会

# と人権

現在、私たちの身の回りには、人権に関するさまざまな問題が存在しています。差別のない未来社会をめざすことは、今を生きる私たちの責任です。人権問題の現状や取組みを幅広い角度から学びます。

- ・日時 2014年9/24、10/30、11/6、11/13、11/20  
19:00～21:00 ※1回目は終了しました。
- ・定員 先着50名(申込み方法は裏面をご覧ください)
- ・受講料 各回1,000円

第2回

## 10/30

木曜日

19:00～21:00

### 「ビッグデータ時代のプライバシー保護」

小林正啓 しばやしまさひろ(大阪弁護士会所属弁護士/花水木法律事務所)

ビッグデータ時代を迎え、監視カメラの増加や顔認証技術などの進歩によって引き起こる課題などは、多くの人にとって重要な問題になっています。プライバシーというセンシティブな問題について、それが抱える課題を深く掘り下げながら、私たちはどのように向き合っていけばよいのか、現状を学びます。

第3回

## 11/6

木曜日

19:00～21:00

### 「パワーアシストが社会を変える」

八木栄一 やぎえいいち(和歌山大学特任教授/名誉教授/博士(工学))

高齢化や労働人口の減少によって人手不足が予測されている中、装着型ロボットと呼ばれるパワーアシストスーツは、未来型ロボットの成長分野として様々なジャンルでの活躍が期待されています。農業や介護の現場でパワーアシストがどのように活かされているか、そしてこれからの未来にどのような可能性があるか、研究結果を報告していただきます。

第4回

## 11/13

木曜日

19:00～21:00

### 「エルジービーティLGBT 働くことと生きること」

村木真紀 むらきまき(特定非営利活動法人虹色ダイバーシティ代表)

様々な業種で職場のダイバーシティ(人材の多様性)が重要視されるようになりました。心と体の性が一致しなかったり、同性を好きになったりといった、性的マイノリティ(LGBT)の人への配慮も欠かせません。LGBTにとっての職場環境について行った最近の調査結果を中心に、誰もが働きやすい職場づくりについて、ともに考えます。

第5回

## 11/20

木曜日

19:00～21:00

### 「出生前診断について考える」

利光恵子 としみつけいこ(立命館大学生存学研究センター 客員研究員)

国内では2013年4月から新型出生前検査が開始され、妊娠を望む人、妊娠中の人のみならず、多くの人にとって重要な問題になっています。出生前診断というセンシティブな問題について、それが抱える課題を深く掘り下げ、私たちはどのように向き合っていけばよいのか、背景と現状について学びます。

会場・申込先 / 大阪市立総合生涯学習センター (詳しくは裏面をご覧ください)  
主催 / 国際人権大学院大学(夜間)の実現をめざす大阪府民会議